

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	全国スポーツ・レクリエーション大会開催事業		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和63年度		担当課室	スポーツ振興課		スポーツ振興課長 嶋倉 剛		
会計区分	一般会計		施策名	XI-2 生涯スポーツ社会の実現				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	スポーツ振興法第7条 地方公共団体は、(省略)スポーツ行事を実施するように努め、かつ、団体その他の者がこれらの行事を実施するよう奨励しなければならない。 2 国は、地方公共団体に対し、前項の行事の実施に関し必要な援助を行なうものとする。		関係する計画、通知等	スポーツ立国戦略、スポーツ振興基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	広く国民にスポーツ・レクリエーション活動を全国的な規模で実践する場を提供することにより、国民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、もって国民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動への振興に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○種目別大会 年齢・体力に応じて誰でもが楽しく参加できるスポーツ・レクリエーション種目を行う。 ○特別行事 スポーツ・レクリエーション体験コーナーや開催県の魅力をアピールするコーナーなど、幼児から高齢者まで幅広い層が参加し楽しめる、各種交流の場を提供する。 補助率:定額							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
		計	138.2	138.2	138.2	124.3	0	
	執行額	138.2	138.2	138.2				
	執行率(%)	100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(32年度)
	スポーツ実施率の向上 (体力・スポーツに関する世論調査)内閣府		成果実績	%	-	45.3	-	65
			達成度	%	-	70	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	大会への参加者数 (種目別大会・特別行事)		活動実績	人	141,056人	99,509人	201,000人	-
						(180,000人)	(75,401人)	
単位当たりコスト	688(円/参加者)		算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X:平成22年度補助額(138.2百万円) Y:平成22年度大会参加者(201,000人)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	地方スポーツ振興費補助金	124.3百万円		平成23年度限りで廃止				
	計	124.3百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業完了報告書や証拠書類(納品書・領収書等)等により、事業の実施内容、目的との整合性について確認を行うとともに、補助金が適切に執行されているか検査を行った。 ・広く国民にスポーツ・レクリエーション活動を全国的な規模で実践する場を提供することにより、成果目標(アウトカム)に向かって、着実に進展していると認められる。 ・開会式の簡素化により、事業の効率化(予算縮減)を図っている。 		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	本事業については、公開プロセス等において、イベント的な事業については厳しい指摘がなされていることを踏まえ、平成23年度をもって廃止すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
有益な事業であるが、所見や社会情勢を踏まえ廃止する。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省
138.2百万円

全国スポーツ・レクリエーション大会を開催する都道府県
に対して、開催に必要な経費を補助

【補助】

A. 富山県
138.2百万円

- 開会式
- 種目別大会
年齢・体力に応じて誰もが楽しく参加できるスポーツ・レクリエーション種目を行う。
- 特別行事
スポーツ・レクリエーション体験コーナーや開催県の魅力をアピールするコーナーなど、幼児から高齢者まで幅広い層が参加し楽しめる、各種交流の場を提供。
- 閉会式

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. 富山県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
式典行事費	特別行事の運營業務等	50.2			
種目交流費	大会準備、運営費等	46.0			
宿泊輸送費	バス運行等に関する業務等	27.5			
総務費	ガイドブック作成、無線運營業務等	8.0			
広報費	新聞広告料等	6.5			
計		138.2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.全国スポーツ・レクリエーション大会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富山県	全国スポーツ・レクリエーション大会の開催	138.2	-	-

※補助事業